

報道関係者各位
プレスリリース

2022年2月16日
株式会社インフォコーパス

**DX 企業インフォコーパスが
感染症対策の第一人者、電気通信大学石垣陽特任准教授監修によりスマートシティ感染症
対策統合プラットフォーム SensorCorpus IC
「換気対策アプリケーション」を開発**

**～複数ヶ所の CO2 センサーの活用に悩む管理者の換気対策を支援。
1000ppm を超えた箇所をリスト表示、担当者にアラートメール、パトライト（オプション）で知らせ
換気対策を促します～**

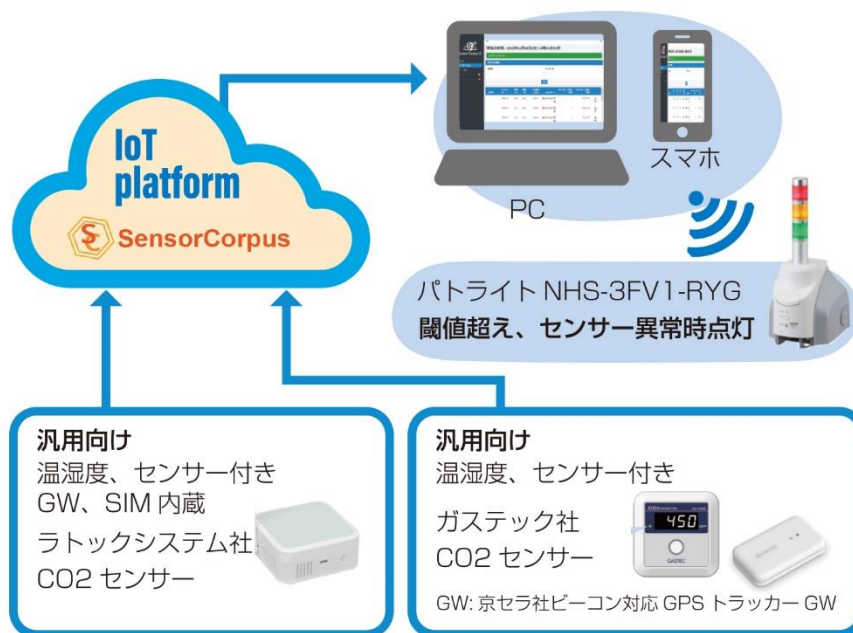
株式会社インフォコーパス(代表取締役社長：鈴木 潤一、本社：東京都目黒区、以下 インフォコーパス)は、昨年9月に発表した街全体の感染症対策をクラウド上で管理するソリューション「スマートシティ感染症対策統合プラットフォーム SensorCorpus IC (InfectionControl)」の「換気対策アプリケーション」の提供を2月1日より開始しました。

オミクロン株の急激な拡大の中、「エアロゾル感染対策」が注目されています。

「接触感染」「飛沫感染」対策のためのマスク着用、検温、消毒、アクリル板などの対策はかなり普及してきましたが、空気感染が懸念されるオミクロン株については「エアロゾル感染」対策、つまり「換気対策」が従来に増して重要になってきましたが具体的な対策が遅れているのが実態です。CO2 センサーを使った換気の見える化も少しずつ普及し始めていますが、精度の低い粗悪センサーの存在、組織内において CO2 濃度上昇時の対応プロセスの標準化の遅れ、30カ所以上の複数か所の換気対策が施設管理者の負担になっている等、様々な課題が顕在化しています。殆どの企業、組織には感染対策の専門スタッフがおらず試行錯誤で対策を講じているのが実情です。

そのような悩みに応え、インフォコーパスはクラスター発生事例や研究成果に基づくコロナ対策のガイドブックを発刊するなど感染症対策に関して積極的な活動、情報発信を続けている感染症対策の第一人者、国立大学法人電気通信大学^{*}石垣陽特任准教授監修のもと、あたかも企業、組織にバーチャル換気対策室が設置されたかのようなサービスを目指し SensorCorpusIC「換気対策アプリケーション」を開発しました。

システム構成



※ソラコム社の通信 IoT プラットフォーム「SORACOM」が提供するクラウド連携サービス「SORACOM Funnel」機能を使ったものとなります。

採用 CO2 センサー



ラトックシステム株式会社「RS-LTECO2」

(<https://www.ratocsystems.com/>)

- ・ ENSIRION SCD40 (PASens 方式) = 光学式「非分散赤外線吸収法」
- ・ 自動校正機能 温湿度、センサー付き GW、SIM 内蔵



株式会社ガステック「CD-1000」(<https://www.gastec.co.jp/>)

- ・ NDIR 方式
- ・ 自動校正機能 温湿度、センサー付き
- ・ GW : 京セラ株式会社 ビーコン対応 GPS トラッカーGW

(https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/iot/products/gps_tracker.html)

採用システム基盤



SORACOM
Funnel

株式会社ソラコム (<https://soracom.jp/>)

- ・ 通信 IoT プラットフォーム「SORACOM」
- ・ クラウド連携サービス「SORACOM Funnel」

アプリ開発支援

株式会社 Fusic (<https://fusic.co.jp/>)

- IoT テストサービス「mockmock」 <https://mock-mock.com/ja/>

協力

城山ホテル鹿児島 (<https://www.shiroyama-g.co.jp/>)

株式会社パトライト (<https://www.patlite.co.jp/>)

- 型式 : NHS-3FV1-RYG



アプリケーション開発監修



国立大学法人電気通信大学 特任准教授 石垣 陽 氏

大手サービス会社にて 10 年間、政府認証基盤・遠隔医療・セキュリティシステムの研究開発に従事。その後、世界初のスマホ接続型線量計「ポケットガイガー」や、大気汚染 (PM2.5) の測定器「ポケット PM2.5 センサー」を産学連携により開発。新型コロナウイルス対策でも全国のクラスター発生現場に赴き発生原因の調査や対策を実施。メディア露出も多く注目の学者。

感染対策アプリケーションメニュー

・現在の状況

各部屋の現在の温度[℃]、湿度[%]、CO2 濃度[ppm]測定値を一覧表示
CO2 アラート発生 (例 : 閾値 800ppm、1000ppm 超え) した部屋が一覧の上位にマーク (赤、黄色) 付きでリストアップされます。

当日の CO2 アラート発生回数および CO2 アラート累計時間を表示。

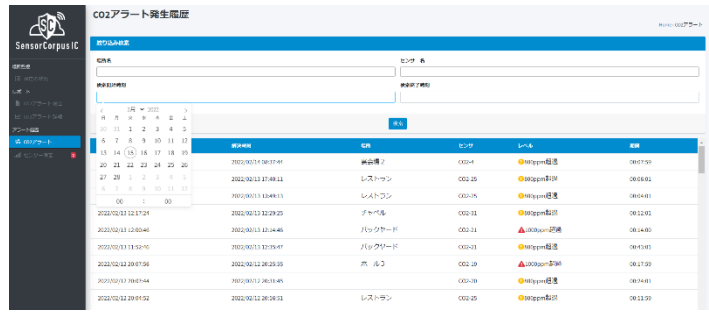


現在の状況 - 2022年02月15日(火) 16時01分16秒

場所名	センサー名	温度(℃)	湿度(%)	CO2濃度(ppm)	CO2アラート	CO2アラート発生回数	CO2アラート累計時間
ホール1	CO2-15	19.2	34.0	470.0	▲1000ppm超過	0	00:00:00
ホール2	CO2-16	-	-	-	正常	0	00:00:00
ホール3	CO2-19	-	-	-	正常	0	00:00:00
講堂1	CO2-6	17.4	43.1	410.0	正常	0	00:00:00
講堂2	CO2-4	21.0	40.0	500.0	正常	0	00:00:00
宴会場	CO2-12	21.0	37.0	470.0	正常	0	00:00:00

・CO2 アラート発生履歴

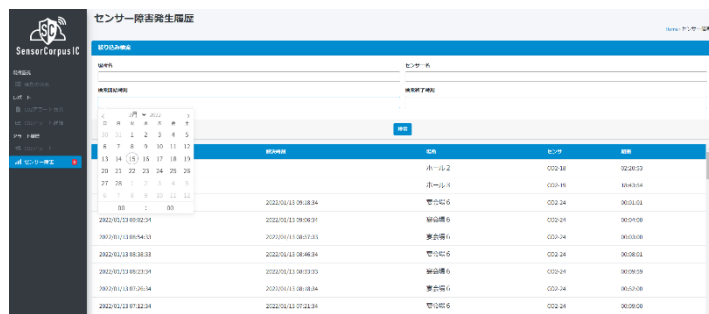
発生時刻、解決時刻、場所、期間が発生時刻の降順で表示されます。
 検索開始時刻および検索終了時刻を入力し、日時でCO2 アラート発生履歴が絞り込めます。



発生時刻	解決時刻	場所	CO2	レベル	状態
2022/02/11 08:57:41	2022/02/11 09:07:41	会議室1	CO2-4	High	High
2022/02/11 07:48:11	2022/02/11 07:48:11	レストロン	CO2-25	High	High
2022/02/11 03:49:13	2022/02/11 03:49:13	レストロン	CO2-25	High	High
2022/02/11 02:29:25	2022/02/11 02:29:25	チャペル	CO2-11	High	High
2022/02/11 02:04:46	2022/02/11 02:04:46	パルクガード	CO2-11	High	High
2022/02/11 02:03:47	2022/02/11 02:03:47	パルクガード	CO2-11	High	High
2022/02/11 02:02:05	2022/02/11 02:02:05	ホール	CO2-19	High	High
2022/02/11 01:07:44	2022/02/11 01:07:44	レストロン	CO2-25	High	High
2022/02/11 00:41:52	2022/02/11 00:41:52	レストロン	CO2-25	High	High

・センサー障害発生履歴

発生時刻、解決時刻、場所、期間が発生時刻の降順で表示されます。
 検索開始時刻および検索終了時刻を入力し、日時でセンサー障害発生履歴が絞り込めます。



発生時刻	解決時刻	場所	CO2	レベル	状態
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール2	CO2-38	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール4	CO2-16	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール6	CO2-24	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール6	CO2-14	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール6	CO2-24	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール6	CO2-24	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール6	CO2-24	High	High
2022/02/11 08:18:24	2022/02/11 08:18:24	ホール6	CO2-24	High	High

・アラートメール通知

CO2 アラート発生・解決時のメール通知
 センサー障害発生発生・解決時のメール通知

・パトライト連動 (オプション)

CO2 アラート発生時にパトライト点灯
 センサー障害発生発生時にパトライト点灯
 *パトライトは、株式会社パトライトの登録商標です。

PATLITE®



・レポート (オプション)

指定期間の日毎のCO2 濃度値のグラフ表示
 指定期間の日毎のCO2 アラート発生回数のグラフ表示
 データのダウンロード



料金プラン（税込）

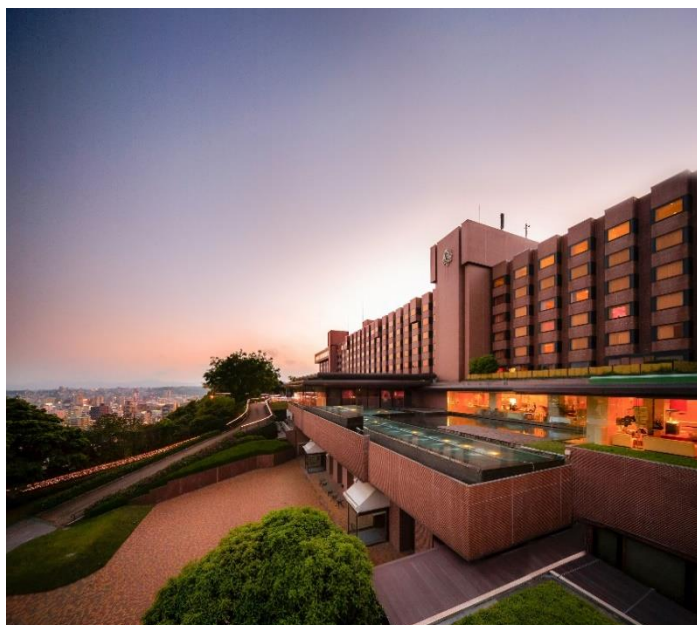
・月額サービス料金

CO2 センサー台数	1～10 台	27,500 円（税込）
	11～100 台	55,000 円（税込）
	101～500 台	110,000 円（税込）
	501 台以上	要相談（税込）

* 上記利用料にはセンサー本体、IoT 通信 SIM の通信料、初期費用等は含まれておりません。

事例

■ ホテル（城山ホテル鹿児島事例）



鹿児島のホテル、SHIROYAMA HOTEL kagoshima（城山ホテル鹿児島 旧：城山観光ホテル）は、桜島の絶景を望む展望露天温泉、鹿児島食材を堪能できるレストランなどを完備した、鹿児島随一のホテルです。大規模な宴会場や結婚式場として使用されるチャペルを中心に、CO2 センサーを 30 個以上設置させていただき、徹底的な換気対策を実施しました。アプリ開発にあたっては施設管理者の方から多くのアドバイス、要望を頂きました。

SensorCorpusIC はスマートシティ感染症対策統合プラットフォームとして「換気対策」に続きこれからも新しいアプリケーションを開発していく予定です。

【会社概要】

商号 : 株式会社インフォコーパス
 代表者 : 代表取締役社長 鈴木 潤一
 所在地 : 〒153-0064 東京都目黒区下目黒三丁目 5 番 1 号 梶浦ビル 5 階
 設立 : 2013 年 6 月 10 日
 事業内容 : IoT サービスプラットフォーム、IoT サービス開発、IoT コンサルティング
 資本金 : 7,118 万円
 URL : <https://www.infocorpus.co.jp/>



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】
株式会社インフォコーパス
担当：高橋（事業推進部）
メールアドレス：contact@jp.infocorpus.com
TEL：03-5734-1830